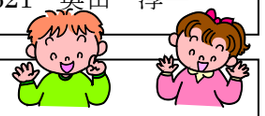
平成２５年９月２０日（金）　第１８号（６０）

おりひがっこ

北九州市立折尾東小学校
〒　807-0824
八幡西区光明１－２－１
℡　602-2621　奥田　淳一



元気の花　なかよしの花　やる気の花　安全の花

相手の気持ちを考えることがコミュニーケーション

「人」という字は支え合っている、と言われます。また、人は二人以上集まったときに「人間」になる、一人では「間」ができないから、ということも言われます。人と人とをつなぐことが「コミュニーケーション」です。日々、子ども達と接していて、コミュニーケーションの力を高めていくことの大切さを感じています。

まず、「あいさつ」です。「おはようございます。」と元気にあいさつができる子は、周りに対して心を開いている子たちです。何気ない一言を交わし合うことで、「私はあなたにつながっていますよ。」「いつもありがとうございます。」「今日もよろしくお願いします。」そんな気持ちが込められているようです。

この頃、休み時間に出会った子どもたちと「ジャンケン」をよくしています。ジャンケンをするときの子どもたちの顔はにこにこしています。私もにこにこしています。ジャンケンという小さな行為ですが、子どもたちとつながっているということを感じます。

ジャンケンをするときに、声に出して「さいしょはグー、ジャンケンポン！」といえば簡単なのですが、時々声に出さずに、動作だけでジャンケンをします。そうすると、相手に合わせることが難しいのです。相手の動きをよく見たり、アイコンタクトをとったりしないと、うまくタイミングを合わせることができません。声に出さないジャンケンは、相手をよく見て相手と自分を合わせるという少し高度なコミュニケーションだなと感じます。キャッチボールやサッカーのパスなども同じでしょう。自分の伝えたいことだけを伝えるのでは一方通行です。

相手の立場や気持ちを考え受けとめたうえで、自分の伝えたいことを伝えていく、そんな双方向のコミュニーケーション力を伸ばしていきたいですね。そのためには、コミュニケーションの仕方（技術・スキルなど）を身に付けることと同時に、相手に対する思いやりなど心をみがいていくことが大切になってくると考えます。

朝は明るく、笑顔でおはよう　　家族にもありがとうとごめんなさい

社会科作品展でにぎわいました

９月１４（金）に、本校体育館で、八幡東西区の社会科作品展が開かれました。天気も何とかもって、１３００人を超える保護者やおじいちゃん・おばあちゃん、子どもたち、地域の方などで大変にぎわいました。「子どもたちは、本当によく調べていますね。」「感心しました。」「来年の自由研究の参考になりました。」などの声をいただきました。来場された皆様、ありがとうございました。

靴（サンダル）を間違えられた方がいらっしゃいます。男性用の紺のクロックス（横は白地に赤のライン入）です。お心当たりの方は学校までご連絡ください。

ものづくり体験：5 年生

９月１７日（火）、５年生の社会科「工業生産を支える人々」の学習の一環で、「ものづくり体験」の出前授業を行っていただきました。自動車会社の方においでいただき、ミニカーを使っての組み立て作業体験や工具を工夫して能率的に使う体験などをさせていただきました。社会科では社会の仕組みや働いている人の工夫（知恵）や努力（汗）について学び考えていきます。子どもたちは体験を通して楽しみながら、それらをまなんでいくことができました。

ちょっと気を付けること

このところ、運動場にごみが落ちていることが以前より少し増えてきました。落ち着いて生活し、みんなで使うものや場所を大切にしましょう。